

プレスリリース 2023年10月26日
国際芸術祭「あいち」組織委員会

Aichi Triennale 2025

国際芸術祭「あいち2025」

企画概要（会期、会場）

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局
（愛知県県民文化局文化部文化芸術課国際芸術祭推進室内）
電話：052-971-3111（代表）

開催概要

開催目的

- ・新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献します。
- ・現代美術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図ります。
- ・文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ります。

名称

Aichi Triennale 2025
国際芸術祭「あいち2025」

芸術監督

フール・アル・カシミ (Hoor Al Qasimi)

(シャルジャ美術財団理事長兼ディレクター、国際ビエンナーレ協会 (IBA) 会長)

会期

2025年9月13日(土)～11月30日(日) [79日間]

主な会場

愛知芸術文化センター
愛知県陶磁美術館
瀬戸市のまちなか

主催

国際芸術祭「あいち」組織委員会

(会長 大林剛郎 (株式会社大林組取締役会長 兼 取締役会議長))

主な会場

愛知芸術文化センター

Aichi Arts Center

国内外の20世紀美術を中心に充実した作品を所蔵する「愛知県美術館」、大ホール、コンサートホール、小ホールなどを有する「愛知県芸術劇場」、アールスペース、アートルाइブラリー、アートプラザで構成される「愛知県文化情報センター」からなる複合文化施設。

愛知県の文化芸術の拠点として、名古屋市の中心部に1992年開館。



愛知県陶磁美術館

Aichi Prefectural Ceramic Museum

日本を代表する窯業地・瀬戸に「愛知県陶磁資料館」として1978年開館。2013年に名称変更し、「愛知県陶磁美術館」として新たなスタートを切った。

緑あふれる広大な敷地内に、充実した2つの展示施設「本館」「南館」、作陶体験施設「陶芸館」、古窯跡を公開する「古窯館」などがあり、様々な角度からやきものにアプローチするやきもの専門ミュージアム。

2025年4月、改修工事を経てリニューアルオープン予定。



瀬戸市

Seto City

名古屋市中心部から北東約20kmに位置し、周囲を小高い山々に囲まれ、千年以上のやきものの歴史を有する人口約13万人の市。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、陶都として発展させたことから、やきものの代名詞「せともの（瀬戸物）」の語源ともなった。

2017年には日本六古窯（瀬戸・常滑・越前・信楽・丹波・備前）として日本遺産に認定され、現在でも、多くの陶芸作家やツクリテが市内の窯元や工房などで、日々新たな作品を生み出す。窯道具で組まれた窯垣や陶器でできた橋の欄干など、やきもののまちならではの風情が随所に見られる。

